

里の食農教育活動の可能性

ーふるさと資源を活用した食育活動のすすめー

2008.6.27

NPO 法人里の自然文化共育研究所

専務理事 出川真也

- 1、 食の活動の前身
 - (1) ふるさと学習活動の展開
 - (2) 地域コミュニケーションの活性化・地域資源の再発見

- 2、 住民による地域づくり・環境づくり・学校づくりの展開
 - (1) 角川里の自然環境学校・・・住民による地域運営学校
 - (2) 地元学・・・自分たちで調べる、地元学ぶ地元学

- 3、 ふるさとの食文化の再発見と活用～食の教室の設立と活動展開～
 - (1) 「食の教室」の設立・・・地域住民による食育推進
 - ・郷土料理教室：ふるさとの食資源を食育の素材として活用
 - ・国際料理：海外出身のお嫁さんの知恵や技術からも学ぶ
 - (2) 地域資源の保全と安全安心な食資源作り
 - ・無農薬農業に挑戦
 - ・里地里山ビオトープ作り（棚田ビオトープ等）
 - (3) 新たな産品開発の可能性
 - ・地元食文化を継承しつつ地域づくりへつなげる。

- 4、 森里川海をつなぐ食文化の広域交流の可能性
 - (1) 庄内・飛島との交流
 - (2) ないものを交換し合い、よいものを共有しあう食交流の楽しみと地域づくり

○ 地域に根ざす：ふるさとの食文化の再発見と活用～

：ふるさとの根ざした食材、知恵、技術、食べ方の流儀

○ 地域人材の再発見と共同の学び：食育と共育

○ 交流と学習：世代間交流と食育